

「ICT 部門における業務継続計画（初動版）」の策定について

1. 概要

BCP の下位計画として大規模な災害に関する ICT インフラ面での対策について、「ICT 部門における業務継続計画（初動版）」の策定を進めています。

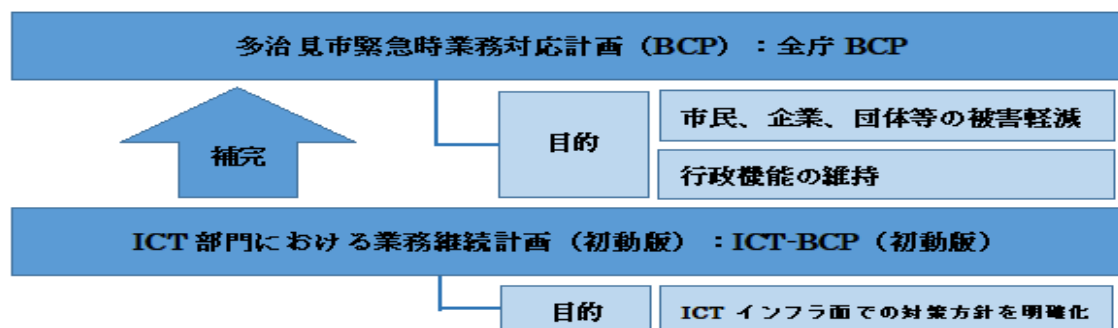
2. 構成

1.概要と目的	計画の趣旨、位置付け、基本方針
2.現状把握と被害想定	利用している情報システム、システム重要度判定 ICT 環境の現状、被害想定、リスク分析
3.事前体制	代替拠点の判断・災害対策本部の設置場所 情報機器の整備対策、推進体制の確立
4.復旧体制	復旧体制の確立、復旧フロー、行動計画 被害状況の確認について、復旧進捗管理、復旧体制の解除
5.維持管理	

3. 計画の趣旨や位置付け

趣旨：地震を想定した初動対策（発災後 72 時間以内）。ICT インフラ面での課題を把握し、対策方針を定めるもの。

位置付け：多治見市緊急時業務対応計画（BCP）を補完



4. 対象システム

全 77 情報システムのうち、33 情報システム対象とし業務優先順位毎の内訳は次のとおり

災害対応-A（災害時特有の業務で直ちに着手）	22（主に広報、防災、情報課関係）
災害対応-B（災害時特有の業務で 3 日以内に着手）	4（公有財産等）
通常業務-A（直ちに着手）	4（戸籍等）
通常業務-B（3 日以内に着手）	3（住基等）

※災害対応業務と通常業務の両方で利用する情報システムは、災害対応業務に含めています。

※業務の種別、優先順位は、全庁 BCP に基づき定めています。

5. リスク分析

多治見市が保有するリスクを抽出しました（全 289 件）。その概要（一部）は次の通りです。

リスク区分	抽出リスク	対策方針
ネットワーク	本庁－駅北間の通信不可	業務場所、情報機器の移動
ネットワーク	外部接続（インターネット）不可	モバイルルータにより数台利用可能
ネットワーク	外部接続（住基・LGWAN）不可	一団体での対応は不可
業者	保守業者協力の下、復旧できない	災害時の対応方法について協議（電話指示等） 連絡先の把握が必要 等
情報システム	サーバの復旧、稼働ができない	冗長化・バックアップ取得について検討
端末	システムを利用できない	代替パソコン準備、専用ソフト・マニュアル取得
端末	パソコンが落下等により故障	代替パソコン準備、落下しない場所への保管
その他	ファイルサーバが利用できない	ファイルサーバに限らず、重要データはバックアップ用媒体等に保管

6. 情報機器の整備

（1）代替機器の用意

庁内 LAN：研修用機材一式の利用。ただし、研修用機材は古いため、性能確保について検討
基幹系：賃貸借契約により利用している現状。災害用に契約台数を増やすか検討

（2）インターネット接続環境

モバイルルータの利用。避難所等施設への Wi-Fi 環境整備の検討

（3）バックアップの確保

情報システム：現状されていないものは、システム更新時等に検討
業務パソコン：ファイルサーバに限らず、バックアップ媒体等に保存

7. 今後の取組み：H31（2019）年度～

- （1）抽出したリスク及び対応方針に基づいて、事前対策を検討・実施
- （2）発災時における行動計画を検討、訓練の実施

8. 策定スケジュール

日付	内容
平成 30 年 9 月 28 日（金）～10 月 24 日（水）	情報システム及びパソコン必要台数の把握に関する調査
11 月 8 日（木）～11 月 22 日（木）	初動利用する情報システムに関する業者・システム詳細に関する調査
11 月 14 日（水）～11 月 22 日（木）	災害対策に関する機器等調査
12 月 3 日（月）～1 月 22 日（火）	委託業者によるリスク分析
2 月 14 日（木）～2 月 28 日（木）	庁内照会
3 月 13 日（水）	政策会議